

報告事項 1. 2017年度事業報告

I 会員の異動状況

(2018年3月31日)

1. 会員の異動状況	前年度末	入会・就任	退 会	物故者	現在数
(1) 正会員	26,065 名	736 名	351 名	32 名	26,418 名
(1の内) 名誉会員	37 名	1 名	0 名	2 名	36 名
(1の内) 特別会員	47 名	6 名	1 名	0 名	52 名
(1の内) 国際名誉会員	41 名	2 名	0 名	0 名	43 名
(2) 準会員	476 名	143 名	58 名	0 名	561 名
(3) 賛助会員(法人)	59 名	0 名	2 名	—	57 名

2. 役員・職員の異動	前年度末	入会・就任	退 会	物故者	現在数
(1) 理 事	30 名	0 名	0 名	0 名	30 名
(2) 監 事	2 名	0 名	0 名	0 名	2 名
(3) 幹 事	19 名	0 名	3 名	0 名	16 名
(4) 社 員	283 名	11 名	11 名	0 名	283 名
(5) 事務局職員	21 名	3 名	2 名	0 名	22 名

3. 国際名誉会員

Piero Anversa (USA)	William Grossman (USA)	John Ross Jr (USA)
Jong-Hoa Bae (Korea)	Tsui-Lieh Hsu (Taiwan)	Christine E. Seidman (USA)
Eugene Braunwald (USA)	David T Kelly (Australia)	Patrick W. Serruys (Netherlands)
A. John Camm (UK)	Sam-Soo Kim (Korea)	Pravin M. Shah (USA)
Jay N. Cohn (USA)	Spencer B. King III (USA)	Shahryar A. Sheikh (Pakistan)
Mark A. Creager (USA)	Michel Komajda (France)	Sidney C. Smith, Jr (USA)
Alain Cribier (France)	Peter Libby (USA)	Karl Swedberg (Sweden)
Anthony N. DeMaria (USA)	Thomas F. Luscher (Switzerland)	A. Jamil Tajik (USA)
Victor J. Dzau (USA)	Giuseppe Mancina (Italy)	Stephen F. Vatner (USA)
Murray Esler (Australia)	William John McKenna (UK)	Finn Waagstein (Sweden)
Harvey Feigenbaum (USA)	Steven E. Nissen (USA)	James T. Willerson III (USA)
Roberto Ferrari (Italy)	Ock-Kyu Park (Korea)	Huo Yong (China)
Kim Fox (UK)	Seung-Jung Park (Korea)	Salim Yusuf (USA)
Valentin Fuster (USA)	Young-Bae Park (Korea)	
Peter Ganz (USA)	Fausto J. Pinto (Portugal)	

4. 物故会員(敬称略)

(1) 名誉会員	阿部 裕	日野原重明			
(2) 一般会員	石川 皓	木島 敏明	高木 厚子	初音嘉一郎	柳掘 朗子
	上山 敬司	釘宮 博志	田所 正路	廣木 忠行	山根 哲弥
	大槲以手紙	草野 頼子	田中 健	藤巻 忠夫	横田 義夫
	大島 洸人	高 永煥	長坂 昌人	星野 俊一	脇坂 憲昭
	小比賀真就	小机 敏昭	中村 憲司	松倉 一郎	
	粕谷 健司	榊原 有作	西村 崇	三木 哲雄	
	川嶋 弘	佐地 勉	橋本 秀	安井 昭二	

II 会議の事項

(1) 第81回社員総会	: 2017年 6月28日	東京都	・ J P タワー ホール&カンファレンス
(2) 理事会	: 2017年 6月 9日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2017年 9月 8日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2017年11月24日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
	2018年 3月22日	大阪府	・ 大阪国際会議場
(3) 総務委員会	: 2017年 6月 9日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2017年 9月 8日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2017年11月24日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
	2018年 3月22日	大阪府	・ 大阪国際会議場
・ 脳卒中・循環器病対策基本法ワーキンググループ	2018年 1月21日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
・ FJCSワーキンググループ	2017年11月19日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2018年 3月24日	大阪府	・ 大阪国際会議場
・ FJCS審査会	2017年11月 3日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2018年 2月11日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
・ 若手活性化ワーキンググループ	2017年 9月14日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
・ 新システム検討ワーキンググループ	2017年 6月26日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2017年 8月23日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2017年11月 2日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2018年 3月 2日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
(4) 将来構想検討委員会	: 2017年 5月10日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2017年 6月30日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2017年10月 5日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
・ 循環器病克服5ヵ年計画ワーキンググループ	2017年 1月11日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2017年 4月 9日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2017年 6月28日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
(5) 財務委員会・監査会	: 2017年 6月 9日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2017年 8月21日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2017年11月24日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2018年 3月16日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
(6) 予算委員会	: 2017年11月 6日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2018年 3月 9日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
(7) 編集委員会	: 2017年 6月 6日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2017年 9月 8日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2017年11月24日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
	2018年 3月22日	大阪府	・ 大阪国際会議場
・ Circulation Reportsワーキンググループ会議	2017年10月 8日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2018年 3月10日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
(8) 学術委員会	: 2017年 6月 9日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2017年 9月 8日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2017年11月24日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
	2018年 3月22日	大阪府	・ 大阪国際会議場
・ 小児・成人先天性心疾患部会	2017年 6月 9日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2017年 9月 8日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2017年11月24日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
	2018年 3月22日	大阪府	・ 大阪国際会議場
・ 成人先天性心疾患の横断的検討委員会	2017年 6月 9日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2017年 9月28日	大阪府	・ リーガロイヤルホテル大阪
	2017年11月 2日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
・ 心臓血管外科部会	2017年11月24日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
(外科系3学会とのLeadership Meeting)	2018年 3月25日	大阪府	・ リーガロイヤルホテル大阪
・ 基礎研究部会(BCVR)	2017年 5月13日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2017年 6月30日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2018年 3月 9日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
・ BPAワーキンググループ	2018年 2月12日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
(9) ガイドライン委員会	: 2017年 6月 9日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2017年 9月 8日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2017年11月24日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
	2018年 3月22日	大阪府	・ 大阪国際会議場
(10) I T / Database委員会	: 2017年 7月29日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2017年10月26日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2018年 3月22日	大阪府	・ 大阪国際会議場
・ JROAD研究利用審査小委員会	2018年 3月22日	大阪府	・ 大阪国際会議場
(11) 専門医制度委員会	: 2017年 6月 9日	東京都	・ 東京国際フォーラム

		2017年9月8日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年11月24日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
		2018年3月22日	大阪府	・大阪国際会議場
・専門医編集委員会		2017年6月9日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年9月8日	東京都	・東京国際フォーラム
・専門医実務委員会		2017年4月9日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
		2017年4月15日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
		2017年6月9日	東京都	・東京国際フォーラム
		2018年1月27日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
・認定試験委員会		2017年9月29日	大阪府	・大阪国際会議場
・新専門医制度検討ワーキンググループ		2017年6月10日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
		2017年7月29日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
		2017年11月6日	東京都	・東京国際フォーラム
		2018年2月8日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
(12) 教育研修委員会	:	2017年6月9日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年9月8日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年11月24日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
		2018年3月22日	大阪府	・大阪国際会議場
(13) 学術集会運営委員会	:	2017年6月9日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年9月8日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年11月24日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
		2018年3月22日	大阪府	・大阪国際会議場
(14) 学術集会プログラム委員会(活性化ワーキング)		2017年4月14日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
		2017年9月8日	東京都	・東京国際フォーラム
・分科会代表者会議		2017年7月30日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
・分科会最終調整会議		2018年1月21日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
(15) 国際交流委員会	:	2017年6月9日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年9月8日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年11月24日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
		2018年3月22日	大阪府	・大阪国際会議場
(16) 心臓移植委員会	:	2017年6月9日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年9月11日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
		2017年11月24日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
		2018年3月22日	大阪府	・大阪国際会議場
・心臓移植実施施設小委員会		2017年10月13日	秋田県	・秋田キャッスルホテル
		2018年3月24日	大阪府	・リーガロイヤルホテル大阪
(17) 健保対策委員会	:	2017年6月9日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年9月8日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年11月24日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
		2018年3月22日	大阪府	・大阪国際会議場
・内保連携ワーキンググループ		(開催無し)		
(18) 医療安全委員会	:	(開催無し)		
(19) 倫理委員会	:	2017年6月9日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年9月8日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年11月24日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
		2018年3月22日	大阪府	・大阪国際会議場
・医療倫理委員会	:	2017年6月9日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年9月8日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年11月24日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
		2018年3月22日	大阪府	・大阪国際会議場
・研究倫理審査委員会		2017年11月20日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
		2018年2月2日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
(20) VART論文調査委員会		2017年4月14日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
(21) 医道委員会	:	(開催無し)		
(22) 利益相反委員会	:	2017年11月24日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
(23) 情報広報委員会	:	2017年6月9日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年9月8日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年11月24日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
(24) チーム医療委員会	:	2017年6月9日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年11月24日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
・プログラム部会	:	2017年5月11日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
		2017年11月6日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
(25) 男女共同参画委員会	:	2017年6月9日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年9月8日	東京都	・東京国際フォーラム

		2017年11月24日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
		2018年3月22日	大阪府	・大阪国際会議場
(26)	循環器救急医療・災害対策委員会	2017年6月9日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年9月8日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年11月24日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
		2018年3月22日	大阪府	・大阪国際会議場
	・蘇生科学小委員会	： 2017年9月29日	大阪府	・大阪国際会議場
		2018年3月22日	大阪府	・大阪大学中之島センター
	・AED検討小委員会	： 2017年6月5日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
		2017年11月2日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
		2018年3月2日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	・STOP MIワーキンググループ	2017年9月29日	大阪府	・大阪国際会議場
(27)	禁煙推進委員会	： 2017年4月15日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
		2017年6月9日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年9月8日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年11月24日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
		2018年3月22日	大阪府	・大阪国際会議場
(28)	予防委員会	： 2017年6月9日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年11月24日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
(29)	国内交流委員会	2017年6月9日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年9月8日	東京都	・東京国際フォーラム
		2017年11月24日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
		2018年3月22日	大阪府	・大阪国際会議場
(30)	用語委員会	： 2017年6月9日	東京都	・東京国際フォーラム

●循環器学の研究及び振興を目的とする事業

(1)研究会・学術講演会の開催事業

1. 第82回日本循環器学会学術集会 (JCS2018)

① 会期：2018年3月23日(金)～25日(日)

会長：澤 芳樹(大阪大学心臓血管外科)

会場：大阪国際会議場，リーガロイヤル大阪，
堂島リバーフォーラム

メインテーマ：Futurability ～明日の循環器医療
を拓く～

② プログラム

■一般演題

(口述，ポスター，Featured Research Session)

■美甘レクチャー：Alain Cribier

(Department of Cardiology Hospital Charles
Nicolle University of Rouen, France)

■真下記念講演：山中 伸弥(京都大学iPS細胞研 究所)

■会長講演：澤 芳樹(大阪大学心臓血管外科)

■代表理事講演：小室 一成(東京大学循環器内 科学)

■会長特別講演：桂 文枝

岸本 忠三(大阪大学免疫学フロ
ンティア研究センター
免疫機能統御学)

■国際名誉会員就任講演

William Grossman (University of California,
San Francisco Cardiovascular Research
Institute USA)

■特別講演／招待講演

■プレナリーセッション

■シンポジウム

■会長特別企画

- ・大阪宣言 “まごころ”のおくりもの～みんな
でつなごう心臓移植～
- ・鼎談一 臓器移植法制定20周年記念
- ・循環器領域におけるIoT技術の進歩
- ・Lifelong Cardiology in the Young of
Futurability：発生，発達から見た心筋疾患
の生涯循環器学(小児循環器学会合同セッ
ション)
- ・Case Report Award Session (CRAS)
外科部門
- ・Case Report Award Session (CRAS)
内科部門
- ・LVAD ～up-to-date and future～
- ・Meet the Editor-in-Chief of Circulation:
Arrhythmia and Electrophysiology
- how to submit a strong manuscript
- ・Asian Pacific CVS Summit
- ・個人情報法を踏まえた臨床研究のあり方
- ・新たな循環器専門医制度構築に向けての最近
の動向(専門医制度委員会共同企画)

- ・これからの心臓外科女性医師～男女共同参画
に向けて～
- ・医療界の202030～意識を変える・組織を変え
る～(男女共同参画委員会共同企画セッシ
ョン)
- ・女性循環器医ネットワーク：JCS-JJC 創設
- ・心血管疾患の臨床疫学研究の課題と展開～臨
床から地域へ，地域から臨床へ～
- ・研修医のための心エコー ハンズオンセッ
ション(日本循環器学会・日本心エコー図学会
共催)
- ・生物統計が解決！臨床研究ピットフォール
- ・心不全における非薬物治療へのターニングポ
イントは？
- ・複雑重症心不全とどう戦うか？～Two heads
or Too many cooks?～(U40心不全ネットワ
ーク共同企画)
- ・緩和医療のFuturability～高度化する医療の
なかで緩和・終末期医療を考える～
- ・循環器救急疾患における診断と治療
- ・Onco-Cardiology～がんと循環器診療におけ
る新たな関係～
- ・心臓血管外科のFuturability ～循環器領域に
おける外科医の輝ける未来に向けて～(日本
循環器学会・日本心臓血管外科学会共催)
- ・新しい時代を迎える大型血管炎の診断・治療
の最前線
- ・医療機器開発のFuturability～日米の産官学
の力を結集し世界をリードしよう～
- ・地域をまもる～各地での地域医療連携の取り組
み～
- ・「レジェンド道場」～悩んでいるなら俺に聞け！～
第1幕 不整脈のトラブルシューティングなら
俺に聞け！
第2幕 CTO-PCIなら俺に聞け！どうすれ
ば良かったの，このCTO
第3幕 リバースリモデリングなら俺に聞け！
- Welcome Ceremony～Future Concert～
スーパーキッズ・オーケストラ
指揮：佐渡 裕
- ジョイントシンポジウム
(AHA, ACC, ESC, KSC, CSC, Asian Session)
- ラウンドテーブルディスカッション
- トピック
- コントロールバーシー
- ミート・ザ・エキスパート
- Late Breaking Clinical Trials※
- Late Breaking Cohort Studies※
※セッション後にプレスインタビューを開催した。
- 第46回循環器教育セッション
- 日本心臓財団佐藤賞記念講演
- 審査講演会
・YIA Clinical research部門審査講演

- ・ YIA Basic research部門審査講演
- ・ 国際留学生YIA 審査講演
- ・ 第8回コメディカル賞審査講演会
- ガイドラインに学ぶ
- 第14回心臓移植セミナー
- 保険医療セミナー
- 第2回脳卒中と循環器病克服5カ年計画シンポジウム
- 第8回海外留学生セミナー
- 第2回医療安全に関する講演会
- 第2回倫理に関する講演会
- 第17回禁煙推進セミナー
- 日本循環器学会蘇生科学シンポジウム
- 第8回男女共同参画委員会セッション
- Circulation Journal Award Session
- チーム医療セッション
(教育講演, シンポジウム, 一般演題, コメディカル賞審査講演会)
- 市民公開講座
楽しく学んで健康長寿! ~よくわかる脳と心臓のお話~
- 第16回心肺蘇生法 市民公開講座
- サテライトセミナー(ランチョンセミナー, コーヒーブレイクセミナー, ファイアサイドセミナー)
- 機器・書籍展示
- ③ プレレジストレーション
学術集会参加者向けに, 参加登録, 教育セッション, ランチョンセミナー・コーヒーブレイクセミナー・ファイアサイドセミナーのプレレジストレーションをオンライン上で行った.
- ④ 印刷物・製作物
第82回学術集会関連の印刷物・制作物として, プログラム集, 電子抄録アプリ, 教育セッションテキスト, 企業展示ガイドブック, ピンバッジ, 英文パンフレットを作成した.
- ⑤ My Abstracts
抄録演題・チーム医療セッション・共催セミナー抄録を検索し, 必要な演題の抄録だけを収録したオリジナル抄録集や日程表が作成できるサービスをWEB版とアプリ版で行った.
- ⑥ トラベルグラント
海外からの演題採択者への補助として筆頭著者にトラベルグラントを支給した. 支給金額は中国, 香港, 台湾, 韓国は5万円, その他の国は10万円とした.
- ⑦ 発表データプレエントリー
学術集会発表スライドを会期前にWEBサイトで事前アップロードするための「発表データプレエントリーシステム」を公開した.
- ⑧ 託児室
学術集会会期中に参加者に対して英語対応可能な無料託児室を設置した.
- ⑨ 各種サービス
救護室やAEDの設置を行った. ポスター発表者を対象に会場で受け取れる「手ぶらでポスター」を行った. なにわ食いだおれ横丁と題し, 大阪自慢の粉ものグルメを提供した. ドリンクサービスに加え, スイーツサービスも設置した.
循環器救急医療・災害対策委員会監修の循環器防災セットを数量限定で作成した.
- ⑩ 学会賞
 - ・ 第43回日本心臓財団佐藤賞
選考委員長
澤 芳樹(大阪大学外科学講座心臓血管外科学)受賞者
山口 修(大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学)
心疾患におけるオートファジーの機能解析
 - ・ 第35回Young Investigator's Award
Clinical research部門
選考委員長
木村 剛(京都大学医学部附属病院循環器内科)受賞者
《最優秀賞》
大山 宗馬(東北大学大学院医療系研究科循環器内科学分野)
Evidence for Enhanced Inflammation of Coronary Adventitia and Perivascular Adipose Tissue in Patients with Vasospastic Angina -A multi-modality imaging study-
《優秀賞》
田畑 範明(熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学)
Effect of Current and Past Cancer Treatment on Risk of Cardiovascular Events Following Percutaneous Coronary Intervention: a Kumamoto University Malignancy and Atherosclerosis (KUMA) study
《優秀賞》
中島 孝之(北海道大学大学院医学院循環病態内科学教室)
Mitochondrial Dysfunction in Epicardial Adipose Tissue Is Associated with Coronary Artery Stenosis
《優秀賞》
飛田 尚重(東京女子医科大学大学院医学研究科循環器内科学)
Comprehensive Targeted Sequencing Uncovers the Genetic Basis of Cardiomyopathy and the Genotypes Involved in Prognosis and Left Ventricular Reverse Remodeling
Basic research部門
選考委員長
小室 一成(東京大学循環器内科学)受賞者

《最優秀賞》

原 弘典(東京大学医学部附属病院循環器内科)
Discovery of a Small Molecule to Increase
Cardiomyocytes and Protect the Heart After
Ischemic Injury

《優秀賞》

桑原 康秀(シンシナティ子供病院医療センター,
ハワードヒューズ医学研究所分子
心血管生物学)

A Novel Long Intergenic Noncoding
RNA,Lionheart,Underlies
Heart Development and Guards the Heart
from Pressure Overload

《優秀賞》

丸山 和晃(東京大学大学院医学系研究科分子
細胞生物学専攻代謝生理化学)

Semaphorin 3 E-PlexinD 1 -Mediated
Coordination of Blood and Lymphatic Vessels
Development in the Heart, with Implications
for Coronary Artery Diseases

《優秀賞》

山本 恒久(慶應義塾大学医学部循環器内科)
Sirt 1 Counteracts Cardiac Lipotoxicity Via
Improving Membrane Fatty Acid Composition
and Resulting ER Stress-Like Response

・第26回CPIS賞

選考委員長

山下 静也(大阪大学総合地域医療学寄附講座)

受賞者

石井 正将(熊本大学大学院生命科学研究部)
Cardioprotective Effects of LCZ696
(sacubitril/valsartan) After Experimental
Acute
Myocardial Infarction

・第16回国際留学生Young Investigator's Award

選考委員長

野出 孝一(佐賀大学循環器内科)

受賞者

《最優秀賞》

Donytra Arby Wardhana(神戸大学循環器内科)
Family with Sequence Similarity 13, Member A
(Fam13a) Preserves Metabolic Health by
Regulating Adipocyte Insulin Signaling

《優秀賞》

Huan Thanh Nguyen(関西医科大学内科学第
二講座)

Small-Vessel Vasculopathy Due to Aberrant
Autophagy in LAMP-2 Deficiency

《優秀賞》

Limei Piao(名古屋大学大学院医学系研究科地
域在宅医療学老年科学講座)

Chronic Psychological Stress Accelerates
Vascular Senescence and Impairs

Ischemia-induced Neovascularization: The Role
of Dipeptidyl Peptidase-4 /glucagon-like
Peptide-1-adiponectin Axis

《優秀賞》

Tommy Dharmawan(群馬大学院医学系研究科
循環器内科学)

Divergent Molecular Mechanisms of Cardiac
Sodium Channelopathies Exhibiting
Brugada Syndrome with Multiple
Electrophysiological Phenotypes

・第13回心臓血管外科賞

選考委員長

横山 斉(福島県立医科大学心臓血管外科学講
座)

受賞者

矢嶋 真心(大阪大学医学部附属病院心臓血管
外科)

A Slow-Release Synthetic Prostacyclin Agonist
“ONO-1301SR” Combined with Pedicled
Omental Flap Reduces Microvascular
Resistance and Increases Myocardial Blood
Flow Associated with Cardiac Functional
Recovery in a Porcine Chronic Myocardial
Infarction Model

・第13回小児循環器賞

選考委員長

市川 肇(国立循環器病研究センター心臓血管
外科)

受賞者

本田 崇(北里大学医学部小児科)
Exploring Energy Loss by Vector Flow
Mapping in Children with Ventricular Septal
Defect: Pathophysiologic Significance

・第12回循環器再生医科学賞

選考委員長

濱野 公一(山口大学器官病態外科学(第一外
科))

基礎研究部門

受賞者

藤田 淳(慶應義塾大学医学部循環器内科・重
症心不全学治療講座)

Ronin Governs Early Heart Development by
Controlling Core Gene Programs

臨床研究部門

受賞者

堂前 圭太郎(大阪大学大学院医学系研究科心
臓血管外科)

Clinical Outcomes of Autologous Stem
Cell-sheet Implantation for Heart Failure
Patients with Non-Ischemic Dilated
Cardiomyopathy

・第11回女性研究者奨励賞

選考委員長

瀧原 圭子(大阪大学キャンパスライフ健康支援センター)

受賞者

大石 由美子(東京医科歯科大学難治疾患研究所細胞分子医学分野)

SREBP 1 Contributes to Resolution of Proinflammatory TLR 4 Signaling by Reprogramming Fatty Acid Metabolism

・第7回循環器臨床研究奨励賞

選考委員長

山岸 正和(金沢大学循環器病態内科学)

受賞者

臨床研究部門

香坂 俊(慶應義塾大学医学部循環器内科)

冠動脈インターベンション適切性とリスク評価に関する日米共同大規模レジストリの構築とデータ解析

症例報告部門

受賞者

《最優秀賞》

中村 知久(久留米大学循環器病センター)

Right Ventricular Workload Assessed by FDG-PET in a Patient with Residual VSD and Infundibular Pulmonary Stenosis After Repair of Tetralogy of Fallot

《優秀賞》

平谷 太吾(筑波大学循環器内科)

Life-Threatening Acute Occlusion Between Interposed Graft and Left Coronary Artery After Modified Bentall Operation

《優秀賞》

濱谷 康弘(国立循環器病研究センター心臓血管内科心不全部門)

Contrast-Enhanced Computed Tomography with Myocardial Three-Dimensional Printing Can Guide Treatment in Symptomatic Hypertrophic Obstructive Cardiomyopathy

・第5回循環器イメージング賞

選考委員長

山本 一博(鳥取大学病態情報内科学)

受賞者

《最優秀賞》

松浦 良平(大阪大学大学院医学系研究科心臓血管外科)

Intravital Imaging with Two-Photon Microscopy Reveals Subcellular Dynamics in the Ischemia-Reperfused Rat Heart

《最優秀賞》

小保方 優(メイヨークリニック心臓血管部門)

Role of Diastolic Stress Testing in the Evaluation for Heart Failure with Preserved Ejection Fraction

《優秀賞》

加藤 真吾(神奈川県立循環器呼吸器病センター循環器内科)

Stress Perfusion Coronary Flow Reserve Versus Cardiac Magnetic Resonance for Known or Suspected CAD

・第8回コメディカル賞

選考委員長

山岸 正和(金沢大学循環器内科)

検査・治療部門

受賞者

《最優秀賞》

安田 奈央(名古屋掖済会病院)

心房細動アブレーション後の再発に関連する左房形態の検討

《優秀賞》

小池 よう子(みなみ野循環器病院検査科)

心筋内脂肪沈着は左室拡張機能低下速度を加速させる

梅津 努(筑波大学看護部血管造影室)

Hot Balloon Ablation における3剤の静脈麻酔を用いた鎮静法の鎮静鎮痛評価と鎮静下においても疼痛を強く自覚する患者背景の考察

《奨励賞》

横田 順(東京大学医療機器管理部)

IVUS, OCT を用いた移植後冠動脈病変の定量的かつ定性的検証

加藤 京一(昭和大学保健医療学研究科)

チーム医療としてのメディカルスタッフへの放射線防護・被曝低減に関する教育の検討

南雲 涼太(埼玉県済生会川口総合病院臨床検査科)

発作性心房細動アブレーション後の心房機能：3次元エコーによるクライオバルーンアブレーションと高周波アブレーションの比較

看護・薬剤・リハ部門

受賞者

《最優秀賞》

板垣 篤典(心臓血管研究所リハビリテーション室)

心臓外科術前フレイルとCKDが術後リハビリテーション進行に及ぼす影響

《優秀賞》

藤田 吾郎(東京慈恵会医科大学リハビリテーション科)

先天性心疾患術後遠隔期患児の健康関連

QOLは嫌気性代謝閾値レベルの運動耐容能や身体活動状況と関連がある

宮崎 元康(福岡大学筑紫病院薬剤部)

直接経口抗凝固薬内服中の心房細動患者におけるノンアドヒアランスに関連する因子の検討

《奨励賞》

臼井 直人(嬉泉病院リハビリテーション科)

自転車エルゴメーター運動負荷試験を用いた透

析関連低血圧の予防・管理

角森 亮介(国立国際医療研究センター看護部)
下肢閉塞性動脈硬化症患者の身体活動と予後に
関する研究：縦断調査における2年間の心血管
イベント発生とその関連因子の検討

藤原 麻未(藤田保健衛生大学ME管理室)

心臓植込み型デバイスで測定される activity と
生命予後の関連

・ Circulation Journal Awards for Volume 81, 2017

選考委員長

Toyoaki Murohara

(*Nagoya University Graduate school of
Medicine, Nagoya*)

受賞者

Clinical Investigation

First Place :

Yuji Mizuno

(*Kumamoto Kinoh Hospital, Kumamoto
Aging*

Research Institute)

Variant Aldehyde Dehydrogenase 2 (A
LDH 2*2) in East Asians Interactively Exa
cerbates Tobacco Smoking Risk for Coronary
Spasm — Possible

Role of Reactive Aldehydes —

(Circ J 2017; 81: 96-102)

Second Place :

Kentaro Hayashida

(*Keio University School of Medicine*)

AVJ-514 Trial — Baseline Characteristics
and 30-Day Outcomes Following MitraClip®
Treatment in a Japanese Cohort —

(Circ J 2017; 81: 1116-1122)

Kohei Kaku

(*Kawasaki Medical School*)

Empagliflozin and Cardiovascular Outcomes
in Asian Patients With Type 2 Diabetes and
Established Cardiovascular Disease —
Results From EMPA-REG OUTCOME® —

(Circ J 2017; 81: 227-234)

Yoshihiro Kokubo

(*National Cerebral and Cardiovascular
Center*)

Development of a Basic Risk Score for
Incident Atrial Fibrillation in a Japanese
General Population — The Suita Study —

(Circ J 2017; 81: 1580-1588)

Seitaro Oda

(*Faculty of Life Sciences, Kumamoto
University*)

Identification and Assessment of Cardiac
Amyloidosis by Myocardial Strain Analysis of

Cardiac Magnetic Resonance Imaging

(Circ J 2017; 81: 1014-1021)

・ Experimental Investigation

First Place :

Kazuyuki Ikeda

(*Kyoto Prefectural University of Medicine*)

Transcriptional Analysis of Intravenous
Immunoglobulin Resistance in Kawasaki
Disease Using an Induced Pluripotent Stem
Cell Disease Model (Circ J 2017; 81: 110-
118)

Second Place :

Dimitar Petrov Zankov

(*Shiga University of Medical Science*)

Differential Effects of Myocardial Afadin on
Pressure Overload-Induced Compensated
Cardiac Hypertrophy

(Circ J 2017; 81: 1862-1870)

・ Asian Award

Hee Tae Yu

(*Yonsei University College of Medicine*)

Clinical Significance of Hematuria in Atrial
Fibrillation With Oral Anticoagulation
Therapy (Circ J 2017; 81: 158-164)

・ Best Reviewers Award for 2017

Hiroshi Asanuma

(*Meiji University of Integrative Medicine*)

Osamu Tsukamoto

(*Osaka University Graduate School of
Medicine, Osaka*)

Hideki Ishii

(*Nagoya University Graduate School of
Medicine, Aichi*)

Shin Ito

(*National Cerebral and Cardiovascular
Center, Osaka*)

Hirohiko Ando

(*Aichi Medical University, Aichi*)

Yoshihiro Seo

(*University of Tsukuba, Ibaraki*)

Shoji Sanada

(*Osaka University Hospital, Osaka*)

Naohiko Takahashi

(*Oita University, Oita*)

Shinsuke Miyazaki

(*University of Fukui, Fukui*)

Yutaka Okita

(*Kobe University, Hyogo*)

Tetsuya Matoba

(*Kyushu University Hospital, Fukuoka*)

Shiro Uemura

(*Kawasaki Medical School, Okayama*)

Yoshio Kobayashi

(Chiba University, Chiba)

Junya Ako

(Kitasato University, Kanagawa)

Yasuko K. Bando

(Nagoya University Graduate School of
Medicine, Aichi)

Kenichi Fujii

(Higashi Takarazuka Satoh Hospital, Hyogo)

Kenichi Tsujita

(Kumamoto University, Kumamoto)

Koichiro Kinugawa

(University of Toyama, Toyama)

Eitaro Kodani

(Nippon Medical School Tama-Nagayama
Hospital, Tokyo)

Yasunori Ueda

(Osaka National Hospital, Osaka)

・日本心臓財団・日本循環器学会2017年「心臓」賞
選考委員長

山口 徹(虎の門病院)

受賞者

《最優秀賞》

渡部 智紀(自治医科大学内科学講座循環器内
科学部門)

Brugada症候群における飲酒と心室性不整脈の
関連性

(心臓 2016;49(2):103-109)

《優秀賞》

島村 元章(東京警察病院循環器科)

徐脈性不整脈の家族歴を有しSCN5Aに変異を
認めた若年者心房静止の1例

(心臓 2016;49(4):376-381)

《優秀賞》

小丸 達也(東北労災病院循環器内科)

冠疾患患者における慢性閉塞性肺疾患併存と急
性冠症候群発症

(心臓 2016;49(7):665-671)

2. 第1回基礎研究フォーラム

(JCS-Council Forum on BCVR)

2017年度から、「脳卒中と循環器病克服5カ年計
画」の5戦略の1つ「臨床と基礎研究の強化」の一
環として、日本の循環器基礎研究の活性化を目標に
公用語を英語とした基礎研究フォーラムを開催し
た。

会期：2018年1月6日(土)～7日(日)

会長：小室 一成(東京大学大学院医学系研究科循
環器内科)

テーマ：Heart is Mystery

-生命の源は謎に満ちている-

会場：品川インターシティホール

プログラム

■ Keynote Lecture

・ Jeffery D. Molkentin (Cincinnati Children's
Hospital Medical Center, Department of
Pediatrics, University of Cincinnati,
Cincinnati, OH, USA)

・ Noboru Mizushima (Department of Bio
chemistry and Molecular Biology, Graduate
School of Medicine, The University of
Tokyo, Japan)

■ Award Session

・ Mitsuru Seki (Department of Cardiovascular
Medicine, Gunma University Graduate
School of Medicine)

・ Toshiyuki Ko (Department of Cardiovascular
Medicine, The University of Tokyo)

・ Hironori Hara (Department of Cardiovascular
Medicine, The University of Tokyo Hospital)

・ Yusuke Fujikawa (Department of Cardiology,
Nagoya University)

・ Takuya Kumazawa (First Department of
Internal Medicine, Nara Medical University)

■ Invited Lecture 1,2,3,4

■ Poster Session

■ 基礎研究助成セッション

3. 地方会

① 第117回北海道地方会

会期：2017年6月24日(土)

会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会長：川原田 修義(札幌医科大学心臓血管外
科学講座)

参加人数：297人

発表演題：36題

② 第118回北海道地方会

会期：2017年11月25日(土)

会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会長：松居 喜郎(北海道大学循環器・呼吸器
外科学教室)

参加人数：252人

発表演題：36題

③ 第164東北地方会

会期：2017年6月10日(土)

会場：マリオス(盛岡市)

会長：森野 禎浩(岩手医科大学内科学講座循
環器内科学分野)

参加人数：243人

発表演題：93題

④ 第165回東北地方会

会期：2017年12月2日(土)

会場：仙台国際センター(仙台市)

会長：竹石 恭和(福島県立医科大学循環器・
血液内科学講座)

参加人数：348人

発表演題：89題

- ⑤ 第244回関東甲信越地方会
会期：2017年6月10日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：上妻 謙(帝京大学内科・循環器内科)
参加人数：1117人
発表演題：101題
- ⑥ 第245回関東甲信越地方会
会期：2017年9月9日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：池田 隆徳(東邦大学循環器内科学)
参加人数：1067人
発表演題：113題
- ⑦ 第246回関東甲信越地方会
会期：2017年12月2日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：平尾 見三(東京医科歯科大学心臓調律制御学)
参加人数：1028人
発表演題：108題
- ⑧ 第247回関東甲信越地方会
会期：2018年2月10日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：福田 恵一(慶應義塾大学循環器内科)
参加人数：998人
発表演題：126題
- ⑨ 第149回東海地方会
会期：2017年7月1日(土)
会場：ウインクあいち(名古屋市)
会長：碓氷 章彦(名古屋大学心臓外科学)
参加人数：765人
発表演題：121題
- ⑩ 第134回北陸地方会
会期：2017年6月25日(日)
会場：金沢大学医薬保健学域医学類十全講堂・教育棟(金沢市)
会長：名村 正伸(心臓血管センター金沢循環器病院循環器内科)
参加人数：245人
発表演題：59題
- ⑪ 第150回東海・第135回北陸合同地方会
会期：2017年11月3日(金)・4日(土)
会場：ウインクあいち(名古屋市)
会長：天野 哲也(愛知医科大学循環器内科)
参加人数：870人
発表演題：174題
- ⑫ 第123回近畿地方会
会期：2017年6月24日(土)
会場：大阪国際交流センター(大阪市)
会長：坂田 泰史(大阪大学循環器内科)
参加人数：1409人
発表演題：320題
- ⑬ 第124回近畿地方会
会期：2017年11月25日(土)

会場：ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター(大阪市)

会長：川嶋 成乃亮(大阪府済生会中津病院)

参加人数：1338人

発表演題：281題

⑭ 第111回中国地方会

会期：2017年12月2日(土)

会場：倉敷市芸文館

会長：門田 一繁(倉敷中央病院循環器内科)

参加人数：456人

発表演題：139題

⑮ 第111回四国地方会

会期：2017年12月9日(土)

会場：あわぎんホール

会長：藤永 裕之(徳島県立中央病院循環器内科)

参加人数：332人

発表演題：88題

⑯ 第110回中国・四国合同地方会

会期：2017年6月30日(金)・7月1日(土)

会場：高知市文化プラザかるぽーと

会長：渡橋 和政(高知大学外科学(外科二)講座)

参加人数：559人

発表演題：210題

⑰ 第122回九州地方会

会期：2017年6月24日(土)

会場：アクロス福岡

会長：樗木 晶子(九州大学保健学部門)

参加人数：1069人

発表演題：156題

⑱ 第123回九州地方会

会期：2017年12月2日(土)

会場：久留米シティプラザ

会長：田中 啓之(久留米大学外科学講座)

参加人数：802人

発表演題：152題

(2)学会学術誌、その他出版物の刊行事業

1. Circulation Journal刊行

- ① Circ. J. Vol.81 2017年は12冊1,960頁、平均発行部数約17,096部、原著投稿論文を含む1,960頁(97%)、その他49頁(3%)を掲載した。
- ② 2017年投稿論文は、受付1,468件(内有効論文1,445件)採用は256件、採択率17.4%であった。また査読にはEditorial Boardを含め961名(12号掲載)がその任務にあたった。
- ③ 2018年の投稿論文は、2018年4月30日現在までの受付519件(内有効論文514件)であった。

2. Circulation Reports創刊準備

Circulation Reportsの10月1日新規投稿受付開始、2019年1月10日創刊に向けて準備を進めた。

3. 循環器学用語の検討

循環器学用語の改定について、会員及び関係学会からの意見を踏まえ検討した。また、WHO・厚生労働省から依頼を受けているICD-11作成作業について委員派遣を行った。

4. 会告刊行

会告2017 No. 2～No. 4, 2018 No. 1 を発行した。

5. 地方会抄録

地方会抄録オンライン検索システム「症例くん」を運営した。

6. 学会ニュースメールの配信

会員向けに学会からのお知らせなどを掲載したニュースメール「JCS News Letter」を配信した。

(3)学術研究助成事業

1. 循環器疾患診療実態調査(JROAD)

全国の循環器科・心臓血管外科を標榜する2,552施設に調査依頼を行い、Web登録システムを用いた調査で、1,565施設から回答を得た。調査対象期間は2016年1月～12月の1年間で、循環器研修施設および循環器研修関連施設から100%の回答を得ることができた。

2. DPCデータを用いた心疾患における医療の質に関する事業(JROAD-DPC)

JROAD参加施設の中から1,169施設を抽出し、DPC情報提供に関する参加意向を募り、DPC情報の提供に同意した744施設よりデータ収集を行った。

3. JROADデータ利用研究公募

「日本の循環器病疾患医療の質の向上に資する研究」を目的として、JROADデータを利用する研究公募を行い、審査の結果17研究を採択した。

4. 脳卒中と循環器病克服5カ年計画事業における助成

2016年12月16日に制定された脳卒中と循環器病克服5カ年計画に基づき、5戦略の1つとして策定された人材育成を強化するために今後活躍が期待される若手医師研究者3名に「医師臨床研究助成」5名に「基礎研究助成」と、メディカルスタッフ3名に「メディカルスタッフ研究助成」を贈呈した。

《医師臨床研究助成》3名

末永 祐哉(順天堂大学循環器内科学)

田村 雄一(国際医療福祉大学循環器内科)

加藤 真吾(神奈川県立循環器呼吸器病センター循環器内科)

《基礎研究助成》5名

野村 征太郎(東京大学循環器内科学)

村岡 直人(慶應義塾大学循環器内科)

石津 宜丸(大阪大学循環器内科学)

石川 泰輔(長崎大学分子生理学)

川東 正英(京都大学iPS細胞研究所)

《メディカルスタッフ研究助成》3名

河窪 正照(九州大学保健学部門)

角谷 尚哉(北海道大学循環病態内科)

田中 伸弥(北里大学循環器内科)

5. 循環器病におけるゲノム解析プロジェクト研究助成

第81回学術集会期間中に発表された「金沢宣言」に即したプロジェクトを計画し実施者を公募した。3疾患に助成することとし、研究代表者、研究協力者を決定した。研究助成期間は3年間とする。

① 家族性高コレステロール血症

研究代表者：川尻 剛照(金沢大学循環器病態内科学)

研究協力者：斯波 真理子(国立循環器病研究センター病態代謝部)

② 遺伝性心筋症

研究代表者：小室 一成(東京大学循環器内科学)

③ 遺伝性不整脈

研究代表者：相庭 武司(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

研究協力者：堀江 稔(滋賀医科大学循環器・呼吸器内科)

6. ガイドライン

① 作成と公開

以下7つのガイドラインについて、ホームページ上で公開した。

1) 血管炎症候群の診療ガイドライン(2017年改訂版)(班長：磯部 光章)

2) 成人先天性心疾患診療ガイドライン(2017年改訂版)(班長：市田 露子)

3) 遺伝性不整脈の診療に関するガイドライン(2017改訂版)(班長：青沼 和隆)

4) 感染性心内膜炎の予防と治療に関するガイドライン(2017年改訂版)(班長：中谷 敏)

5) 急性・慢性心不全診療ガイドライン(2017改訂版)(班長：筒井 裕之)

6) 肺血栓塞栓症および深部静脈血栓症の診断、治療、予防に関するガイドライン(2017年改訂版)(班長：伊藤 正明)

7) 肺高血圧症治療ガイドライン(2017年改訂版)(班長：福田 恵一)

第82回学術集会時に以下3つの「ガイドラインに学ぶ」セッションを開催した。

「ガイドラインに学ぶ1」

- 1) 肺血栓塞栓症および深部静脈血栓症の診断, 治療, 予防に関するガイドライン(2017年改訂版) (班長: 伊藤 正明)
- 2) 肺高血圧症治療ガイドライン(2017年改訂版) (班長: 福田 恵一)
「ガイドラインに学ぶ2」
- 1) 成人先天性心疾患診療ガイドライン(2017年改訂版)(班長: 市田 路子)
- 2) 血管炎症候群の診療ガイドライン(2017年改訂版)(班長: 磯部 光章)
「ガイドラインに学ぶ3」
- 1) 感染性心内膜炎の予防と治療に関するガイドライン(2017年改訂版)(班長: 中谷 敏)
- 2) 急性・慢性心不全診療ガイドライン(2017年改訂版)(班長: 筒井 裕之)
- 3) 遺伝性不整脈の診療に関するガイドライン(2017年改訂版)(班長: 青沼 和隆)
- ② ダイジェスト版の英訳化
既存のガイドラインのうち, 次の2件を英訳化し, CJ誌に公表, ホームページ上で公開した.
- 1) 慢性肺動脈血栓塞栓症に対するballoon pulmonary angioplastyの適応と実施法に関するステートメント(班長: 伊藤 浩)
- 2) 学校心臓検診のガイドライン(班長: 住友 直方)

7. Translational Research振興事業

2015年度採択されたTranslational Research振興事業について, 研究支援助成を行った(Translational Research振興事業は本件をもって終了). 第82回学術集会時に最終報告会を開催した.

- ① 「ナチュラルキラーT細胞活性化による新たな重症心不全治療の実用化」
筒井 裕之(九州大学循環器内科学)

8. MitraClipに関する適正使用指針改訂

2013年度に策定したMitraClip適正使用指針について, 日本心不全学会, 日本心臓病学会, 日本心エコー図学会, 日本心血管インターベンション治療学会, 日本心臓血管外科学会, 日本循環器学会の6学会で改訂を行った. 本実施施設認定証について2018年度から交付することとした.

9. 大規模臨床試験の後援

我が国独自のエビデンスを構築するため新しい大規模臨床試験を計画し, あるいは医師主導型臨床試験を支援した.

- ① 周産期(産褥)心筋症の発症に関する登録研究(PREACHER: 主査 池田 智明)

10. 心原性ショックに関するレジストリ

蘇生科学小委員会が主導して行う心原性ショックに関するレジストリは, 2014年6月に新規登録を締切り, レジストリ参加施設から組成した

解析班において解析作業を行い, AHAおよび第82回学術集会において発表を行った. 引き続き解析を行う.

11. 留学支援助成

学術集会の発展・医学研究の振興を願って, 海外留学する循環器領域に著しい貢献が期待される若手研究者の経済的支援を目的に募集を行い, 該当者はなしとなった.

(4)交流事業

1. 国内交流

- ① 第82回学術集会において, 日本成人先天性心疾患学会, 日本集中治療医学会, 心筋生検研究会, 日本機械学会, 日本心臓核医学会, 日本心エコー図学会とのジョイントセッションを開催した.
- ② 諸学会主催の学術集会または準ずる講演会において, ジョイントセッションを開催した.
- ③ ICD-CRT研修制度協議会において, テキストのPDF化, 規約の変更についての検討ならびに諸問題の対応を協議した.

2. 国際交流

1. 国際交流事業
 - ① 海外学会(OCC・ESC・AHA)へブース出展を行った.
 - ② 2名(William Grossman(USA), Alain Cribier(France)の新規国際名誉会員の選定を行った.
2. 第82回学術集会開催時にAHA, ACC, CSC, KSC, ESCとの共同シンポジウム(Meet the ESC1,2), アジアンセッションを企画し, 開催した.
3. APSC(Asian Pacific Society of Cardiology)の理事として, Zone Vice Presidentに代表理事が, Councilor に国際交流委員長が就任した.

●循環器医師の教育及び専門性の向上を目的とする事業

(1)循環器専門医事業

- ① 循環器専門医認定のための第28回循環器専門医試験を2017年8月20日(日)パシフィコ横浜(神奈川), 梅田スカイビル(大阪)の2会場で実施した. 認定者は561名(2018年4月1日認定).
- ② 2018年4月1日に循環器専門医資格を更新予定の循環器専門医2,157名の更新が承認された.
- ③ 循環器専門医を目指す会員の臨床研修のための研修施設・研修関連施設の指定および指定更新審査を行った. 新たに研修20施設, 研修関連26施設を指定し, 更新は研修589施設, 研修関連161施設を指定した.
- ④ 専門医編集委員会から, 『循環器専門医』Vol.25 No.2, Vol.26を出版した. Vol.25 No.2は特集

「第81回日本循環器学会学術集会」, Vol.26は特集Ⅰ「基礎科学の進歩」特集Ⅱ「第81回日本循環器学会学術集会」。

- ⑤ 新専門医制度については、基本領域学会または関係学会と協議を行い、制度及びシステムの検討を行った。

※②の更新者に関しては、2018年3月開催の第82回学術集会が更新対象単位となっているため一部審査中となり2018年3月22日現在の情報を記載していますことをご了承ください。

(2)循環器医師及びその他の医療関連従事者の教育・育成事業

1. 第13回循環器専門医を志す研修医のための卒後セミナーの企画・開催

2017年7月9日(日)大手町サンケイプラザにて、主に研修医を対象に、循環器学の面白さをレクチャー、ディベート、グループ討論などを通じて伝えるセミナーを開催した。

2. 教育研修用DVDの製作・販売

学会員の知識、技能の向上をはかることにより、国民の健康に寄与することを目的として「第45回循環器教育セッションDVD」の製作・販売を行った。

3. 教育研修用eラーニングシステムの構築

学会員の知識、技能の向上をはかることにより、国民の健康に寄与することを目的として教育研修eラーニングコンテンツの拡充ならびにメンテナンスを行った。

4. 第3回臨床研究デザインと統計解析合宿の企画・開催

2017年10月19日(木)～21日(土)軽井沢にて、会員を対象とした2泊3日の研修合宿を開催した。研修では講義の他、グループワークや研究成果の報告等も行われた。

5. 心肺蘇生法普及活動

次の各講習会を全国で開催した。

- ・AHA BLSプロバイダーコース
- ・AHA ACLSプロバイダーコース
- ・AHA ACLS-EPプロバイダーコース
- ・AHAハートセイバーAEDコース

インストラクター養成のため以下の各講習会を開催した。

- ・AHA コアインストラクターコース
- ・AHA BLSインストラクターコース
- ・AHA ACLSインストラクターコース
- ・AHAハートセイバーインストラクターコース
- ・AHA ACLS-EPインストラクターコース

ACLSヘルスケアプロバイダーコースについて、蘇生ガイドライン2015に対応するコース開催を行う為、インストラクター向けの勉強会を各地で開催した。コース運営における検討・議論として、AHA担当者との会合をアナハイム(USA)及び大阪にて開催した。

6. コメディカルセミナーの開催

循環器系コメディカルスタッフへの教育・啓発を目的として、「明日から役に立つ知識をあなたに～基礎から学ぶ狭心症・心筋梗塞～」をテーマに開催した。

- ① 第13回
日時：2017年8月20日(日) 10:00-16:00
会場：大阪国際会議場(大阪市)
- ② 第14回
日時：2017年8月26日(土) 10:00-16:00
会場：パシフィコ横浜(横浜市)

7. 男女共同参画

- ① 第11回男女共同参画委員会セミナー「組織を変えれば人が変わる」を2017年6月24日に第122回九州地方会(アクロス福岡)で開催した。
- ② 第12回男女共同参画委員会セミナー「北の国から男女共同参画」を2017年11月25日に第118回北海道地方会(北海道大学学術交流会館)で開催した。
- ③ Travel Award for Women Cardiologists (JCS/TAWC)
循環器学会女性会員のキャリア支援を目的として国際学会において女性筆頭者が発表する優秀演題を顕彰した。

第2回(ESC2017 Barcelona)

Macrophage Stat 3 promotes progression of aortic dissection via M1 differentiation and smooth muscle dedifferentiation

大野 聡子(久留米大学心臓・血管内科)

The impact of left ventricular dysfunction on in-hospital complications and 1-year prognosis in patients undergoing percutaneous coronary intervention in Japan: a report from KiCS-PCI-Registry

木村 舞(慶應義塾大学循環器内科)

第3回(AHA2017 Anaheim)

Role of X Gene Variant in Childhood Pulmonary Arterial Hypertension

千田 礼子(東京女子医科大学循環器小児科)

The Cardiac Rehabilitation Protects against the Expansion of Abdominal Aortic Aneurysm

中山 敦子(東京大学循環器内科)

- (4) 学術集会一般演題における女性座長について、第82回では13.5%となった。

8. 若手活性化

若手医師の活性化を図るため、ワーキンググループが中心となり理事会への提案事項をまとめた。

●循環器診療の社会への普及啓発及び社会還元を目的とする事業

(1)心臓移植等にかかる事業

- ① 心臓移植に関連する協議会等と諸問題について協議し、必要な要望などを関係各所に提出した。
- ② 心臓移植の適応について、新規申請、再申請の検討を行った。
- ③ 第82回学術集会会期中に医師及びコメディカル向けに移植医療の現状報告、心臓移植ドナー不足への取り組みについて心臓移植セミナーを行った。
- ④ 心臓移植について一般市民に理解を深めてもらうため2017年6月24日に市民公開講座を開催した。
- ⑤ 成人心臓移植実施施設認定について千葉大学医学部附属病院、小児心臓移植実施施設認定について九州大学病院、国立成育医療研究センター、埼玉医科大学国際医療センターから申請があり、心臓移植・心肺同時移植関連学会協議会において審議された。

(2)広報・啓発事業

1. プレスセミナーの開催

一般市民への啓発を目的として、プレスを対象としたセミナーを以下のテーマで11回開催した。

- 第29回 脳血栓予防の為にカテーテル治療
- 第30回 日常生活としての人工心臓
- 第31回 動脈硬化性疾患を予防するために
- 第32回 先天性心疾患の移行期治療について
- 第33回 "ストップCVD" ～禁煙・受動喫煙対策は循環器疾患予防の原点～
- 第34回 「体質」だからとあきらめていませんか？-家族性高コレステロール血症と心血管病予防戦略-
- 第35回 高齢者にやさしい心不全治療とは
- 第36回 脈をチェックしよう：命にかかわる心房細動
- 第37回 再生医療の最先端：心筋シートが重症心不全患者を救う
- 第38回 心筋梗塞から命を守る：発生機序の解明と緊急心血管病克服への地域社会構築の最前線
- 第39回 今話題の腸内細菌-心血管疾患にも関係する？-

新聞への掲載、雑誌にて連載された。

2. 学術集会広報ブース展示

第82回学術集会の展示会場にて、学会事業の展示・

広報を行った。

3. 心不全啓発キャンペーンの推進

ハトリシンゾウくんを用いた心不全啓発キャンペーンのポスターを作成し、循環器学会専門医施設・専門医関連施設への配布を行った。

4. 禁煙ガイドブックの販売

禁煙指導のための教材として使用する「禁煙ガイドPassport to Stop Smoking」の販売をおこなった。

5. 禁煙相談ブースの出展

市民向けイベントにブース出展を行い、禁煙相談会を行った。

6. 心肺蘇生法市民公開講座

第82回学術集会期間中に、心肺蘇生法市民公開講座を開催した。

7. ファミリー&フレンズコースの開催

心肺蘇生法に関する市民向けコースを10回開催した。

8. 学会ホームページの運営

学会員・一般市民に役立つ情報を学会ホームページに掲載した。

9. 診療報酬に関する調査

循環器分野における診療報酬の実態や、診療報酬改定後の影響について調査を行い、必要な要望を関係各所に行った。

10. 医療安全に関する事業

医師推薦依頼および医療事故調査制度に対応した。

11. 倫理に関する事業

- ① 論文不正などの問題について対応を検討した。
- ② 終末期症例登録システム及び登録項目を検討した。

●その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 脳卒中と循環器病克服5カ年計画

本会と日本脳卒中学会が中心となり関連19学会と合同で策定した「脳卒中と循環器病克服5カ年計画」について、第82回学術集会会期中に脳卒中と循環器病克服5カ年計画シンポジウムを開催し、本計画の進捗状況を報告した。また、目標達成に向け「人材育成」「医療体制の充実」「登録事業の促進」「予防・国民啓発の促進」「基礎研究の強化」の5戦略を担当する委員会で計画の実施を行った。

た。

2. 新会員システム構築の検討

新専門医制度や現システムの課題に対応した新システムの検討が行われた。

3. 脳卒中・循環器病対策基本法制定のための活動

日本脳卒中協会との打ち合わせや厚生労働省への陳情を行った。議員への訴求用に法律の必要性を記載したパンフレットを作成した。

4. FJCS制度

会員の学会活動への活発な参画により本会をより活性化させるため、フェロー制度の発足ならびにフェロー会員の募集・審査を行った。

5. 功労会員

本会に多大な貢献のある会員に称号を授与するため、功労会員の新設ならびに候補者の推薦を行った。

6. 会員向け刊行物送付有償化検討

希望する会員全員に送付していた会告・Circulation Journalを、送付有償化に切り替える検討を行った。2018年度から送付有償化を開始し、会告は代替としてホームページ・メールで内容を公開する。

Circulation Journal Vol. 81刊行状況(編集委員会)

	論文数	頁数	その他頁数	頁数計
No. 1	16	112	0	112
2	17	128	0	128
3	18	124	1	125
4	21	192	1	193
5	22	139	0	139
6	18	117	0	117
7	23	155	1	156
8	23	165	0	165
9	18	118	1	119
10	27	175	1	176
11	27	186	0	186
12	26	196	58	254
計	256	1807	63	1870

『循環器専門医』刊行状況(専門医制度委員会)

	本文頁数	専門医News頁数	頁数計
Vol.25 No.2	163	12	175
Vol.26	137	10	147
計	300	22	322

2017年度事業報告 附属明細書

2017年度事業報告においては、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

以上